

付録・資料

- 資料 1-1 依頼文 (病院)
- 資料 1-2 同意書 (病院)
- 資料 2-1 依頼文 (医師)
- 資料 2-2 同意書 (医師)
- 資料 3-1 依頼文 (患者・家族)
- 資料 3-2 同意書 (患者・家族)
- 資料 4-1 依頼文 (病棟・外来師長)
- 資料 4-2 同意書 (病棟・外来師長)
- 資料 5-1 依頼文 (一般情報提供者)
- 資料 5-2 同意書 (一般情報提供者)
- 資料 6 面接対象および参加観察の場とその視点
- 資料 7 フィールドノート
- 資料 8-1 インタビューガイド (患者用)
- 資料 8-2 インタビューガイド (家族用)
- 資料 8-3 インタビューガイド (医師用)
- 資料 9 地域の特性に関する視点とその情報源
- 資料 10 返送用はがき見本

〇〇病院
院長 〇〇〇〇様

高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査のお願い

我が国では、急速に進む人口の高齢化とともに、がん患者全体における高齢がん患者の割合は年々高くなってきました。これまでの医療者を対象とした調査では、高齢がん患者は加齢に伴う全身状態や理解力の低下により、がん治療と療養生活における意思決定が家族主体で行われる傾向にあることや、高齢者の単身世帯あるいは高齢夫婦世帯が多くなる中で、自宅での療養生活における介護力のもとより、さまざまな意思決定におけるキーパーソンも不明確である状況がうまれていることが明らかになりました。がん対策基本法によりがん医療の均てん化が進められる中で、地域がん診療連携拠点病院や地域の保健・福祉専門職がこれら的高齢がん患者・家族支援において担う役割も大きいものとなっています。

そこで、高齢がん患者とその家族が、とりまく地域文化の中で固有の価値観を尊重しながら質の高い療養生活を送っていけるようにするために、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにする調査を計画しています。地域の重要ながん診療連携拠点病院である貴院で医療を受けている高齢がん患者と家族が、どのように療養生活を営み、また、それをどのように受け止めているのかを、貴院での診療・ケアの場に参加させていただきながら調査させていただき、高齢がん患者と家族への援助モデルを検討するための一助とさせていただきたいと考えています。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本調査は聖路加看護大学に提出する博士論文の学位取得のための研究です。

また、本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (C)「地方都市の高齢がん患者と家族の療養生活を支える「文化」を基盤とした看護モデル開発」(課題番号 25463423、研究代表者：酒井禎子)の助成を受けております。

調査方法について

本調査は、貴院で治療を受けるがん患者様とご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査を計画しています。そこで、貴院におきまして、「調査にご協力いただけるがん患者様とご家族のご紹介」「これらの患者様・ご家族への診察・治療における観察および面接調査へのご協力」をお願いしたいと思います。

具体的には、下記のような方法で調査を予定しています。

＜がん患者様とご家族＞

- ・貴院の内科・放射線科病棟入院中、あるいは放射線治療室や外来化学療法室に通院しながら化学療法や放射線治療を行っている 75 歳以上のがん患者様 (食道がん患者を予定) とご家族 10 例程度にご協力いただきたいと思います。なお、ご自身ががんに罹患していることを理解しており、認知症の診断を受けていない方を対象としています。
- ・内科・放射線科病棟、あるいは放射線治療室や外来化学療法室において、患者様の治療・ケアなどに貴院のスタッフの皆様と一緒に参加させていただきながら、患者様ご家族と関わりを深め、随時その場での言動を観察記録させていただいたり、療養生活の様子を伺わせていただきたいと思います。さらに、患者様・ご家族の承諾が得られれば、調査期間中にご自宅に訪問させていただき、生活の様子を観察させていただきたいと思っております。また、1 回 30 分程度の面接調査も 1～2 回行わせていただくよう計画しています。

＜貴院の医療者・ケア提供者の皆様＞

- ・放射線治療や化学療法を行う高齢がん患者様 (食道がん患者を予定) に主治医として関わっておられる 医師 1 名の方に、主要情報提供者として、患者様のご紹介と治療・ケア場面の参加観察、および 1～2 回

資料 1 - 1 依頼文 (病院)

30 分程度の面接調査のご協力をいただきたいと思います。

具体的には下記についてのご協力をいただきたいと思います。

- ① 普段の診察・治療の場と一緒に参加させていただきながら、調査にご協力いただけるがん患者様とご家族をご紹介いただくこと
 - ② これらの患者様・ご家族への診察・治療の状況を観察・記録させていただくとともに、随時お話を伺わせていただきたいと思いますこと
 - ③ 調査期間中に、研究にご協力いただきました高齢がん患者様とご家族の療養生活や医療状況などについて、1 回 30 分程度 1～2 回の面接調査を行わせていただきたいと思いますこと
- ・また、上記以外に、内科・放射線科病棟、放射線科外来・放射線治療室および外来化学療法室の看護師の皆様、その他、患者様とご家族の医療状況において、密接な関わりをもっておられる医療・ケアの関係者の皆様には、随時参加観察として、治療・ケアの状況を観察・記録させていただけるようご協力をお願いしたいと思います。

以上のような調査において、観察させていただいた内容は、ご承諾が得られれば随時記録用紙に記録させていただくとともに、患者様・ご家族および主治医の皆様にも面接調査をさせていただいた内容についても、ご本人の許可を得て、録音あるいは必要時メモをとらせていただきたいと思いますと考えております。不都合な場合はお断りいただいてもかまいません。

なお、調査に際しては、次のことをお約束いたします

- ・ 調査にご協力いただくか否かは、皆様の自由意思です。お断りになられても、あるいは途中でおやめになられても、患者様とご家族、貴院および医師・看護師の皆様にも不利益になることはありません。対象者の皆様へのお願いの際にも、文書と口頭でその旨を十分ご説明した上でご協力をお願いいたします。
- ・ 調査への協力を中止される場合は、下記連絡先まで直接ご連絡いただくか、添付しましたはがきをご返送ください。
- ・ 患者様やご家族、医療関係者の皆様にお聞かせいただいた内容は、研究の目的以外では使用いたしません。また、お聞かせいただいた内容は無記名で取り扱いますので個人が特定されることはありません。お聞かせいただいた内容が記載されている資料や録音物などは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮いたします。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表したいと考えております。ご了承ください。

以上についてご理解いただき、貴院の患者様・ご家族、そしてスタッフの皆様にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。

平成 年 月 日

酒井 禎子

【連絡先】

--

院長 ○○○○ 様

研究への参加・協力の同意書

私は「高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査」について説明文書を用いて説明を受け、下記の内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

記

研究協力の依頼内容

- ・ 本調査は、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにするために、貴院で入院あるいは通院しながら化学療法や放射線療法を行う高齢がん患者様とご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者を対象とした参加観察および面接調査であること。
- ・ 患者様・ご家族のご承諾を得て、貴院のスタッフの皆様と一緒に患者様の治療・ケアなどに参加させていただきながら、患者様・ご家族の言動を観察記録させていただいたり、療養生活の様子についても伺わせていただくこと。許可がいただければ、ご自宅への訪問や1回30分程度の面接調査も1~2回行わせていただく予定であること。
- ・ これらの患者様に主治医として関わっている医師1名の方に患者様のご紹介と診察・治療場面の参加観察、および1回30分程度1~2回の面接調査のご協力をいただきたいこと。
- ・ その他、病棟・外来でこれらの患者様・ご家族と関わる看護師の皆様をはじめ、患者様とご家族の医療状況において密接な関わりをもっておられる医療・ケアの関係者の皆様に、随時参加観察へのご協力をお願いしたいこと。
- ・ 調査の内容は、調査協力者の同意を得た上で、記録用紙に記載したり、インタビューの内容を録音あるいはメモをしたりすること。不都合な場合は断ってもかまわないこと。

調査に際してお約束する内容

- ・ 調査への参加は自由意思であること。したがって、研究への参加を断ったり中断してもよいこと。
- ・ 研究で知り得た内容は、研究の目的以外では使用しないこと。また、無記名で取り扱い、個人が特定されることはないこと。分析中も、データは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮されること。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表する予定であること。

日付：平成 年 月 日

研究対象者氏名（ご署名）： _____

説明者（署名）： _____

聖路加看護大学 研究倫理審査委員会 承認番号：11-080

【連絡先】

〇〇病院

〇〇科 〇〇〇〇様

高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査のお願い

我が国では、急速に進む人口の高齢化とともに、がん患者全体における高齢がん患者の割合は年々高くなってきました。高齢がん患者は加齢に伴う全身状態や理解力の低下により、がん治療と療養生活における意思決定が家族主体で行われる傾向にあることや、高齢者の単身世帯あるいは高齢夫婦世帯が多くなる中で、自宅での療養生活における介護力はもとより、さまざまな意思決定におけるキーパーソンも不明確となっている状況も指摘されています。がん対策基本法によりがん医療の均てん化が進められる中で、地域がん診療連携拠点病院や地域の保健・福祉専門職がこれらの高齢がん患者・家族支援において担う役割も大きいものとなっています。

そこで、高齢がん患者とその家族が、とりまく地域文化の中で固有の価値観を尊重しながら質の高い療養生活を送っていきえるようにするために、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにする調査を計画しています。地域の重要ながん診療連携拠点病院である貴院で医療を受けている高齢がん患者と家族が、どのように療養生活を営み、また、それをどのように受け止めているのかを、貴院での診療・ケアの場に参加させていただきながら調査させていただき、高齢がん患者と家族への援助モデルを検討するための一助とさせていただきたいと考えています。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本調査は聖路加看護大学に提出する博士論文の学位取得のための研究です。

また、本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (C)「地方都市の高齢がん患者と家族の療養生活を支える「文化」を基盤とした看護モデル開発」(課題番号 25463423、研究代表者：酒井禎子)の助成を受けております。

調査方法について

- ・ 本調査は、貴院で入院あるいは通院しながら化学療法や放射線療法を行っているがん患者様とそのご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わる医療者・ケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査を計画しています。
- ・ つきましては、下記についてのご協力をいただきたいと思います。
 - ① 普段の診察・治療の場と一緒に参加させていただきながら、ご協力いただけるがん患者様とご家族をご紹介いただきたいと思います。対象となる患者様・ご家族は、貴院の内科・放射線科病棟入院中、あるいは放射線治療室や外来化学療法室に通院しながら化学療法や放射線治療を行っている75歳以上のがん患者様(食道がん患者を予定)とそのご家族10例程度とし、ご自身ががんに罹患していることを理解しており、認知症の診断を受けていない方を対象とします。
 - ② 上記の患者様ご家族にご承諾が得られた場合、「参加観察」として、入院中あるいは外来通院時の治療やケアの場を觀察させていただくとともに、患者様とご家族様に療養生活についてのお話をお伺いいたします。ついては、先生が行われる診察・治療の状況や、その場面での患者様ご家族との会話の様子などについても觀察させていただいたり、お話を伺わせていただきたいと思います。なお、患者様・ご家族のご承諾が得られれば、調査期間中に患者様のご自宅に訪問させていただき、普段の生活の様子を觀察させていただくこと、1回30分程度の面接調査を1~2回行わせていただ

資料 2 - 1 依頼文 (医師)

くことも計画しています。

- ③ 患者様ご家族への調査期間中、主治医でおられる先生にも 30～45 分程度 1～2 回の面接調査を行わせていただきたいと思います。調査にご協力いただきました高齢がん患者様とご家族の療養生活や医療状況などについてお聞きしたいと思っています。
- ・ また、患者様とご家族の医療状況において、密接な関わりをもっておられる病棟・外来の看護師の皆様、その他医療・ケアの関係者の皆様にも、随時ご承諾を得ながら参加観察をさせていただく予定です。

以上のような調査において、観察させていただいた内容はご承諾が得られれば随時記録用紙に記録させていただくとともに、面接でお聞かせいただいた内容についても、ご承諾がいただければ録音あるいは必要時メモをとらせていただきたいと思いますと考えております。不都合な場合はお断りいただいてもかまいません。

なお、調査に際しては、次のことをお約束いたします

- ・ 調査にご協力いただくか否かは、皆様の自由意思です。お断りになられても、あるいは途中でおやめになられても、皆様に不利益になることはありません。対象者の患者様・ご家族の皆様へのお願いの際にも、文書と口頭でその旨を十分ご説明した上でご協力をお願いいたします。
- ・ 調査への協力を中止される場合は、下記連絡先まで直接ご連絡いただくか、添付しましたはがきをご返送ください。
- ・ 患者様やご家族、医療関係者の皆様にお聞かせいただいた内容は、研究の目的以外では使用いたしません。また、お話になった内容は無記名で取り扱いますので個人が特定されることはありません。お聞かせいただいた内容が記載されている資料や録音物などは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮いたします。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表したいと考えております。ご了承ください。

以上についてご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。

平成 年 月 日

酒井 禎子

【連絡先】

医師 ○○○○ 様

研究への参加・協力の同意書

私は「高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査」について説明文書を用いて説明を受け、下記の内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

記

研究協力の依頼内容

- ・ 本調査は、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにするために、貴院で入院あるいは通院しながら化学療法や放射線療法を行う高齢がん患者様とご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者を対象とした参加観察および面接調査であること。
- ・ ついては、普段の診察・治療の場に一緒に参加させていただきながら、ご協力いただけるがん患者様とご家族を 10 事例程度ご紹介させていただきたいこと。
- ・ 患者様ご家族の方にご承諾が得られた場合、診察・治療の状況や患者様・ご家族との会話の様子などについても観察させていただいたり、お話を伺わせていただきたいこと。なお、患者様・ご家族には、ご承諾がいただければご自宅への訪問や面接調査を行わせていただく予定であること。
- ・ 調査にご協力いただいた高齢がん患者様とご家族の療養生活や医療状況などについて、1 回 30 分程度の面接調査を 1~2 回行わせていただきたいこと。
- ・ その他、患者様とご家族の医療状況において、密接な関わりをもっておられる病棟・外来の看護師やその他の医療・ケアの関係者にも、随時参加観察へのご協力をお願いする予定であること。
- ・ 調査の内容は、調査協力者の同意を得た上で、記録用紙に記載したり、インタビューの内容を録音あるいはメモをしたりすること。不都合な場合は断ってもかまわないこと。

調査に際してお約束する内容

- ・ 調査への参加は自由意思であること。したがって、研究への参加を断ったり中断してもよいこと。
- ・ 研究で知り得た内容は、研究の目的以外では使用しないこと。また、無記名で取り扱い、個人が特定されることはないこと。分析中も、データは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮されること。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表する予定であること。

日付：平成 年 月 日

研究対象者氏名（ご署名）： _____

説明者（署名）： _____

聖路加看護大学 研究倫理審査委員会 承認番号：11-080

【連絡先】

がん患者様とご家族の療養生活に関する調査のお願い

がんは、長期的な治療を要する慢性疾患であり、化学療法や放射線療法などの治療を行う患者様やご家族の皆様におかれましては、入院による生活の変化や副作用予防のための健康管理、定期的な通院の継続などご苦勞も多いことと存じます。当院も地域がん診療連携拠点病院として地域のがん医療の中核を担う役割を果たしておりますが、高齢化・核家族化が進む地域において、特に高年層の患者様の療養生活を支援していくことはこの地域のがん医療の課題でもあります。

そこで、入院あるいは通院しながら治療を行うがん患者様とその家族が、不安や負担なく療養生活を送っていただけるようにするための看護師の支援のあり方を明らかにするために、皆様の療養生活の様子を拝見したり、お聞かせいただいたりする調査を計画しています。

本調査は聖路加国際大学に提出する博士論文の学位取得のための研究です。また、本研究は、科学研究費補助金基盤研究（C）（課題番号 25463423）の助成を受けております。

調査方法について

本調査にてご依頼したい具体的な内容は以下の通りです。

<入院中の患者様とご家族の方へ>

- ・入院期間中、時々**病室に訪問させていただき**、入院生活の様子を観察させていただくとともに、お話を伺いたいと思います。また、患者様、ご家族それぞれに、これまでの病気の経過、ご自宅での生活や現在の入院生活に対する思いなどについてお伺いする **30分程度の面接調査にご協力いただきたい**と思っています。
- ・ご退院された後 1~2 回の**外来通院の際に外来でお目にかかり**、退院後のご体調や診察の様子をお伺いしたいと思います。
- ・よろしければ、ご退院された後ご自宅での療養生活の様子を観察させていただくために、**ご自宅にお伺いする機会をいただけましたら幸いです**。また、入院中と同様、ご自宅での療養生活の様子をお伺いする **30分程度の面接調査**にもご協力をいただきたいと思っています。

<外来通院中の患者様とご家族の方へ>

- ・**診察・治療に来られた際に、診察・治療・看護などの場に同席し、その様子を観察させていただいたり、お話を伺いたい**と考えています。
- ・よろしければ、通院状況やご自宅での療養生活の様子を観察させていただくために、**ご自宅にお伺いする機会をいただけましたら幸いです**。また、患者様、ご家族それぞれに、これまでの病気の経過やご自宅での生活の様子についてお伺いする **30分程度の面接調査にご協力いただきたい**と思っています。

なお、調査にあたっては皆様のこれまでの病気の経過の概要などを把握させていただくために、診療記録を参考にさせていただき、主治医からもお話を伺いさせていただきたいと思っております。

また、以上のような調査において、拝見させていただいた内容はご承諾が得られれば随時記録用紙に記録させていただくとともに、面接でお聞かせいただいた内容についても、ご承諾がいただければ録音あるいは必要時メモをとらせていただきたいと思います。

なお、調査に際しては、次のことをお約束いたします

- ・ 調査にご協力いただくか否かは、皆様の自由意思です。お断りになられても、あるいは途中でおやめになられても、今後の医療・看護において皆様に不利益になることはありません。
- ・ 調査への協力を中止される場合は、紹介者である主治医あるいは下記連絡先にご連絡をいただくか、添付しましたはがきをご返送ください。
- ・ 病室・外来、あるいはご自宅などのご訪問をさせていただく際は、事前にご都合をお伺いしてから伺います。ご都合が悪い場合は遠慮なくお知らせください。
- ・ 面接調査にご協力いただく場合、時間、場所等は、皆様のご都合のよい時間、場所で行わせていただきたいと思います。お聞かせいただいた内容は、ご本人の了解なく他者に知らせることはしないことをお約束いたします。
- ・ 患者様やご家族様に観察させていただいたり、お聞かせいただいた内容は、研究の目的以外では使用いたしません。また、これらの内容は無記名で取り扱いますので個人が特定されることはありません。記録物や録音物などは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮いたします。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表したいと考えております。ご了承ください。

以上についてご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。

平成 年 月 日

酒井 禎子

【連絡先】

--

〇〇〇〇 様

研究への参加・協力の同意書

私は「がん患者様とご家族の療養生活に関する調査」について説明文書を用いて説明を受け、下記の内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

記

研究協力の依頼内容

- ・ 本調査は、入院あるいは通院しながら治療を行うがん患者様とその家族が、不安や負担なく療養生活を送っていただけるようにするための看護師の支援のあり方を明らかにするために、皆様の療養生活の様子を観察させていただいたり、お聞かせいただいたりする調査であること。
- ・ 病室への訪問や外来診察・治療などの場に同席しその様子を観察させていただくとともに、随時お話を伺いたいこと。また、可能であれば、ご自宅への訪問をさせていただきたいこと。
- ・ 入院中や外来通院中に、これまでの病気の経過や療養生活の様子などについての 30 分程度のインタビュー調査にもご協力をいただきたいこと。
- ・ 皆様のこれまでの病気の経過の概要などを把握させていただくために、診療記録や主治医のお話も参考にさせていただきたいこと。
- ・ 調査の内容は、ご承諾を得た上で記録用紙に記載したり、インタビューの内容を録音あるいはメモをしたりすること。不都合な場合は断ってもかまわないこと。

調査に際してお約束する内容

- ・ 調査への参加は自由意思であること。したがって、研究への参加を断ったり中断してもよいこと。
- ・ 調査は、患者様・ご家族のご都合をお聞きして行い、知り得た内容はご本人の了解なく他者に知らせることはないこと。
- ・ 研究で知り得た内容は、研究の目的以外では使用しないこと。また、無記名で取り扱い、個人が特定されることはないこと。分析中も、データは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮されること。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表する予定であること。

日付：平成 年 月 日

研究対象者氏名 (ご署名) : _____

説明者 (署名) : _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号：11-080

【連絡先】

高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査のお願い

我が国では、急速に進む人口の高齢化とともに、がん患者全体における高齢がん患者の割合は年々高くなってきました。高齢がん患者は加齢に伴う全身状態や理解力の低下により、がん治療と療養生活における意思決定が家族主体で行われる傾向にあることや、高齢者の単身世帯あるいは高齢夫婦世帯が多くなる中で、自宅での療養生活における介護力はもとより、さまざまな意思決定におけるキーパーソンも不明確となっている状況も指摘されています。がん対策基本法によりがん医療の均てん化が進められる中で、地域がん診療連携拠点病院や地域の保健・福祉専門職がこれら的高齢がん患者・家族支援において担う役割も大きいものとなっています。

そこで、高齢がん患者とその家族が、固有の価値観を尊重しながら質の高い療養生活を送っていただけるようにするために、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにする調査を計画しています。

本調査は聖路加国際大学に提出する博士論文の学位取得のための研究です。

また、本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (C) 「地方都市の高齢がん患者と家族の療養生活を支える「文化」を基盤とした看護モデル開発」(課題番号 25463423、研究代表者：酒井禎子) の助成を受けております。

調査方法について

- ・ 本調査は、貴院で入院あるいは通院により化学療法や放射線療法を受けるがん患者様とそのご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査を計画しています。
- ・ 患者様ご家族の方にご承諾が得られた場合、治療・ケアの場に同席させていただくとともに、療養生活についてのお話をお伺いいたします。ついては、貴病棟・外来における医療・ケアの場にも同席させていただき、その場の状況や患者様ご家族と皆様の会話の様子などについても観察させていただきたいと思っております。また、その際、スタッフの皆様にも随時お話を伺わせていただきたいと思います。
- ・ 観察したり、お聞かせいただいたりした内容は、ご承諾が得られれば治療・ケア終了後、研究者の記録用紙に記録させていただきたいと思っております。

師長様には、貴病棟・外来での上記の調査の実施についてご協力いただけますようお願い申し上げます。

また、ご承諾いただけましたら、貴病棟・外来のスタッフの皆様へ別紙の依頼文をお渡しいただくとともに、ご協力をお断りになるスタッフの方がおられた際には、下記連絡先か添付したはがきを用いて個別に研究者にお返事をいただけるようご連絡いただけましたら幸いです。

なお、調査に際しては、次のことをお約束いたします

- ・ 調査にご協力いただくか否かは、師長様およびスタッフ個々の皆様の自由意思です。お断りになられても、あるいは途中でおやめになられても、皆様に不利益になることはありません。
- ・ 調査への協力を中止される場合は、下記連絡先まで直接ご連絡いただくか、添付しましたはがきをご返送ください。
- ・ 拝見および記録させていただきました内容は、研究の目的以外では使用いたしません。また、これらの内容は無記名で取り扱いますので個人が特定されることはありません。記録物は慎重に管理し、プライ

資料 4 - 1 依頼文（病棟・外来師長）

バシーの保護には十分に配慮いたします。

- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表したいと考えております。ご了承ください。

以上についてご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。

平成 年 月 日

酒井 禎子

【連絡先】

--

〇〇病棟看護師長 〇〇〇〇 様

研究への参加・協力の同意書

私は「高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査」について説明文書を用いて説明を受け、下記の内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

記

研究協力の依頼内容

- ・ 本調査は、地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにするために、貴院で入院あるいは通院により化学療法や放射線療法を受けるがん患者様とそのご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査であること。
- ・ 患者様ご家族の方にご承諾が得られた場合、治療・ケアの場に同席させていただくとともに、療養生活についてのお話をお伺いすること。ついては、貴病棟・外来のスタッフの皆様が関わっておられる医療・ケアの場にも同席させていただき、その場の状況や患者様ご家族と皆様の会話の様子などについて観察させていただきたいこと。また、その際、随時お話を伺わせていただきたいこと。
- ・ 観察したり、お聞かせいただいたりした内容は、ご承諾が得られれば治療・ケア終了後、研究者の記録用紙に記録させていただきたいこと。
- ・ 師長様には、スタッフの皆様へ別紙の依頼文をお渡しいただくとともに、ご協力をお断りになるスタッフの方がおられた場合、個別に研究者にお返事をいただけるようご連絡させていただきたいこと。

調査に際してお約束する内容

- ・ 調査への参加は自由意思であること。したがって、研究への参加を断ったり中断してもよいこと。
- ・ 研究で知り得た内容は、研究の目的以外では使用しないこと。また、無記名で取り扱い、個人が特定されることはないこと。分析中も、データは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮されること。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表する予定であること。

日付：平成 年 月 日

研究対象者氏名（ご署名）： _____

説明者（署名）： _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 承認番号：11-080

【連絡先】

高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査のお願い

我が国では、急速に進む人口の高齢化とともに、がん患者全体における高齢がん患者の割合は年々高くなってきました。高齢がん患者は加齢に伴う全身状態や理解力の低下により、がん治療と療養生活における意思決定が家族主体で行われる傾向にあることや、高齢者の単身世帯あるいは高齢夫婦世帯が多くなる中で、自宅での療養生活における介護力はもとより、さまざまな意思決定におけるキーパーソンも不明確となっている状況も指摘されています。がん対策基本法によりがん医療の均てん化が進められる中で、地域がん診療連携拠点病院や地域の保健・福祉専門職がこれらの高齢がん患者・家族支援において担う役割も大きいものとなっています。

そこで、高齢がん患者とその家族が、固有の価値観を尊重しながら質の高い療養生活を送っていただけるようにするために、本地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにする調査を計画しています。

本調査は聖路加国際大学に提出する博士論文の学位取得のための研究です。

また、本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (C) 「地方都市の高齢がん患者と家族の療養生活を支える「文化」を基盤とした看護モデル開発」(課題番号 25463423、研究代表者：酒井禎子) の助成を受けております。

調査方法について

- ・ 本調査は、地域がん診療連携拠点病院で入院あるいは通院により化学療法や放射線療法を受けるがん患者様とそのご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査を計画しています。
- ・ 患者様ご家族の方にご承諾が得られた場合、治療・ケアの場に同席させていただくとともに、療養生活についてのお話をお伺いいたします。ついては、皆様が患者様に関わっておられる医療・ケアの場にも同席させていただき、その場の状況や患者様ご家族と皆様の会話の様子などについても観察させていただいたり、随時お話を伺わせていただきたいと思います。
- ・ 観察したり、お聞かせいただいたりした内容は、ご承諾が得られれば治療・ケア終了後、研究者の記録用紙に記録させていただきたいと思います。

なお、調査に際しては、次のことをお約束いたします

- ・ 調査にご協力いただくか否かは、皆様の自由意思です。お断りになられても、あるいは途中でおやめになられても、皆様に不利益になることはありません。
- ・ 調査への協力を中止される場合は、下記連絡先まで直接ご連絡いただくか、添付しましたはがきをご返送ください。
- ・ 観察および記録させていただきました内容は、研究の目的以外では使用いたしません。また、これらの内容は無記名で取り扱いますので個人が特定されることはありません。記録物は慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮いたします。

資料 5 - 1 依頼文（一般情報提供者）

- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表したいと考えております。ご了承ください。

以上についてご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。

平成 年 月 日

酒井 禎子

【連絡先】

--

〇〇〇〇 様

研究への参加・協力の同意書

私は「高齢がん患者と家族の療養生活に関する調査」について説明文書を用いて説明を受け、下記の内容を理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

記

研究協力の依頼内容

- ・ 本調査は、地域での高齢がん患者と家族の療養生活の実態を明らかにするために、入院あるいは通院により化学療法や放射線療法を受けるがん患者様とそのご家族、そしてこれらの患者様の療養生活に関わるケア提供者の皆様を対象とした参加観察および面接調査であること。
- ・ 患者様ご家族の方にご承諾が得られた場合、治療・ケアの場に同席させていただくとともに、療養生活についてのお話をお伺いすること。ついては、皆様が関わっておられる医療・ケアの場にも同席させていただき、その場の状況や患者様ご家族と皆様の会話の様子などについて観察させていただきたいこと。また、その際、随時お話を伺わせていただきたいこと。
- ・ 観察したり、お聞かせいただいたりした内容は、ご承諾が得られれば治療・ケア終了後、研究者の記録用紙に記録させていただきたいこと。

調査に際してお約束する内容

- ・ 調査への参加は自由意思であること。したがって、研究への参加を断ったり中断してもよいこと。
- ・ 研究で知り得た内容は、研究の目的以外では使用しないこと。また、無記名で取り扱い、個人が特定されることはないこと。分析中も、データは慎重に管理し、プライバシーの保護には十分に配慮されること。
- ・ 結果は、看護に関する学会および学術雑誌で発表する予定であること。

日付：平成 年 月 日

研究対象者氏名 (ご署名) : _____

説明者 (署名) : _____

聖路加看護大学 研究倫理審査委員会 承認番号 : 11 - 080

【連絡先】

面接対象および参加観察の場とその視点－1

視点	面接調査		
	患者	家族	医師
地域環境			
生活様式	○	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・治療を開始する前の生活状況 ・病気の経過 ・現在の生活における変化や療養のための工夫 ・今後の療養生活への希望 		
認知	○	○	△
	<ul style="list-style-type: none"> ・病気や現在の療養生活に対する受け止め ・自宅での生活や入院前に行っていた役割・日課などへの思い ・家族やケア提供者などの周囲の人々に対する思い 		<ul style="list-style-type: none"> ・医師から見た患者・家族の病気に対する理解・受け止め、生活に対する価値観
相互作用	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人々や病院内外のケア提供者において誰がどんな風に療養生活に役立っているか 		<ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族への援助における配慮

面接対象および参加観察の場とその視点－2

視点	参加観察		
	病棟	外来	自宅
地域環境			○
			・住宅の構造 ・病院へのアクセス ・地域特性(資料9)
生活様式	○	○	○
	・入院生活の過ごし方 ・入院中の自宅の様子に関する患者・家族の会話 ・退院に向けての調整・準備	・通院状況と通院時の家族の援助	・住宅の構造 ・病院へのアクセス ・日常生活の過ごし方 ・ADLの状況(食事、排泄、生活、移動、睡眠その他) ・がん・治療に関連して患者・家族が行っている健康管理行動
認知	○	○	○
	・生活における価値、これまでの人生に対する思い、からだへの関心、治療や病気のとらえかたなどを示す患者・家族の言動		
相互作用	○	○	○
	・患者－家族間 ・医療者と患者・家族 ・面会者と患者・家族 ・他の患者と患者・家族	・患者－家族間 ・医療者と患者・家族 ・他の患者と患者・家族	・患者－家族間 ・近隣住民と患者・家族 ・親戚と患者・家族 ・ケアマネージャー、開業医、訪問看護師などのケア提供者と患者・家族

資料7 フィールドノート

観察日時： 年 月 日 () 時 分～ 時 分

観察場所：

観察対象者：

場面の概要：

見出し	観察内容	メモ

インタビューガイド（患者用）

1. これまでの病気の経過を教えてください
 - 1) がんがわかったとき
 - ・医師からは病気や治療についてどのように伝えられましたか？
 - ・そのとき、患者様はどのように思われましたか？ご家族とはどのようなお話をされましたか？
 - ・がんという病気について、どのようなイメージをもっておられましたか？
 - 2) 治療の経過
 - ・その後どのような治療を行ってこられましたか？
 - ・治療をしている間、日常生活で困ったこと、不安だったことなどはありましたか？それはどのようなことですか？また、そのようなとき、どのように乗り越えてこられましたか？
 - ・今回はどのようなきっかけで入院されましたか？入院することについて、どのように思いましたか？

入院中の面接

2. ご自宅での生活について教えてください。
 - ・ご自宅では1日をどのようにすごされておりましたか？普段の1日の生活について教えてください。
3. 患者様の現在の療養生活についてお聞かせください。
 - ・入院中は、1日をどのようにすごされていますか？
 - ・入院生活の中で、心にひっかかっていること、気にされていることはありますか？それはなぜですか？
 - ・逆に、入院生活で安心できる時、楽しいと思えることがありますか？それはどのようなことですか？
 - ・家族の方はどれくらい面会に来られ、何をしてくれていますか？面会に来られたときにはどのような話をされますか？そのことについて、どのように思っていますか？家族に望むこと、あるいは助けてもらっていると思っていることはどのようなことですか？
 - ・留守をしているご自宅や入院前に行っていた役割・日課について、ご心配されていることはありますか？それらに対し、何か対応していることがありますか？
 - ・ご家族以外にどのような方が面会に来られますか？また周囲の人々は患者様の入院や病気について、何かおっしゃっていることはありますか？それについてどのように思っていますか？

資料 8-1 インタビューガイド（患者用）

- ・現在の入院生活において、支えとなっている存在にはどのようなものがありますか？
（他の家族（同居・別居）/医師・看護師/親戚・近所の人・友人/ケアマネージャー/他の患者・家族との関わり）
- ・その他、最近印象に残っている体験があったら、教えてください。

4. 今後の療養生活について

- ・医師より退院の話があったとき、どのように思いましたか？
- ・退院後の療養生活について、患者様はどのような希望をもっていますか？（転院・退院、場所、介護、通院など）それはなぜですか？
- ・ご家族はどのような生活をしたいと思われていると思われますか？それはなぜですか？
- ・この病院を退院するにあたって、不安や難しいと感じていることはありますか？
（自宅環境、通院アクセスなどの地域環境、家族背景と介護力、患者の症状や病状に関すること、親戚づきあいなど）
- ・そのような不安や困難を解決するために、考えていること、あるいは取り組んでいることはありますか？

外来通院時の面接

5. 現在の療養生活についてお聞かせください。

- ・ご自宅での体調はいかがですか？それについてどのように思っていますか？
- ・ご自宅にいるとき、どのようにすごしておられますか？ご自宅での日常生活（食事、排泄、入浴など）はどのように行われていますか？日常生活をすごす上で家族に助けられていることはありますか？
- ・通院される日のことを教えてください。
- ・病気について、今思っていることがありますか？
- ・現在の生活の中で楽しみにしていたり、一番大切にしていることはどのようなことですか？
- ・現在の生活の中で、心にひっかかっていること、気にされていることはありますか？それはなぜですか？
- ・ご自宅での療養生活を続けていく上で、工夫していることがありますか？それはどのようなことですか？
- ・ご自宅での療養生活を助けてくれる人にはどのような方がいますか（家族、近所の人、ケアマネージャー、など）？ その方たちは、どのような点で助けてくれていますか？また、その方たちに対し、どのように思っていますか？
- ・その他、最近印象に残っている体験があったら、教えてください。

インタビューガイド（家族用）

1. これまでの病気の経過を教えてください

1) がんがわかったとき

- ・医師からは病気や治療についてどのように伝えられましたか？
- ・患者様には誰からどのように話されましたか？（告知されなかった場合）そのように配慮した理由はなぜですか？
- ・そのとき、患者様はどのように言っておられましたか？
- ・ご家族は「がん」という病気に対してどのようなイメージをもっておられましたか？そして、病気の説明を聞いたとき、どのように思いましたか？

2) 治療の経過

- ・その後どのような治療を行ってこられましたか？（治療の種類、入退院の経過）
- ・治療中の患者様の様子はいかがでしたか？（副作用、ADL と介護の状況）
- ・今回はどのようなきっかけで入院をされましたか？

入院中の面接

2. ご自宅での生活について教えてください。

- ・ご自宅では1日をどのようにすごされておりましたか？普段の1日の生活について教えてください。

3. 患者様が入院されている現在のご家族の日常生活についてお聞かせください。

- ・入院後、1日をどのようにすごされていますか？ご家族の生活や仕事の状況に変化はありましたか？それはなぜですか？
- ・そのようなご自身の現在の生活について、どのように思っていますか？
- ・現在の生活の中で、心にひっかかっていること、気にされていることはありますか？それはなぜですか？
- ・入院している患者様に対してどのように思っていますか？家族として、大切にしていることがありますか？
- ・周囲の人は、患者様の入院やご家族の現在の生活状況について、何かおっしゃっていることはありますか？それについてどのように思っていますか？
- ・現在のご家族の生活において、支えとなっている存在にはどのようなものがありますか？

（他の家族（同居・別居）/医師・看護師/親戚・近所の人・友人/ケアマネージャー/他の患者・家族との関わり）

- ・入院に要する費用など経済面については気がかりなことはありますか？
- ・その他、最近印象に残っている体験があったら、教えてください。

4. 今後の療養生活について

- ・ 医師より退院の話があったとき、どのように思いましたか？
- ・ 退院後の患者様の療養生活について、ご家族はどのような希望をもっていますか？（転院・退院、場所、介護、通院など）それはなぜですか？
- ・ 患者様はどのような生活をしたいと思われていると思われますか？それはなぜですか？
- ・ がんという病気を抱える患者様とともに生活していくことについて、不安や難しいと感じていることはありますか？

（自宅環境、通院アクセスなどの地域環境、家族背景と介護力、患者の症状や病状に関すること、親戚づきあいなど）

- ・ そのような不安や困難を解決するために、考えていること、あるいは取り組んでいることはありますか？

外来通院時の面接

5. 患者様の現在の療養生活についてお聞かせください。

- ・ ご自宅での患者様の体調はいかがですか？それについてどのように思っていますか？
- ・ ご自宅での患者様の日常生活（食事、排泄、入浴、通院など）はどのように行われていますか？患者様が日常生活をすごす上で家族が助けておられることはありますか？
- ・ ご家族の生活や仕事の状況は、入院時と比べて変化がありましたか？それについてどのように思っていますか？
- ・ ご自宅にいるとき、患者様はどのようにすごしておられますか？
- ・ 患者様は病気や治療について、どのように思っておられますか（不安、期待など）？患者様が現在の生活の中で一番大切にしていることはどのようなことだと思われますか？
- ・ 現在の生活の中で、心にひっかかっていること、気にされていることはありますか？それはなぜですか？
- ・ 患者様の療養生活を助けながらご自身の生活を維持していく上で、工夫していること、配慮していることがありますか？それはどのようなことですか？
- ・ 患者様とご家族のご自宅での療養生活を助けてくれる人はいますか（家族、近所の人、ケアマネジャー、など）？ その方たちは、どのような点で助けてくれていますか？
- ・ 経済面では何か影響がありますか？
- ・ その他、最近印象に残っている体験があったら、教えてください。

インタビューガイド（医師用）

1. 患者様とご家族の様子についてお聞かせください。
 - ・患者様には現在どのような治療方針で、どのような治療が行われていますか？治療を行う上で配慮していることがありますか？
 - ・患者様や家族は、病気や治療をどのように理解していますか？また、そのことが治療を行う上で、影響を及ぼすことがありますか？
 - ・患者様の治療や療養生活における意思決定は、誰をキーパーソンとして行われていますか？意思決定に大きな影響を与えているのはどのようなことだと思いますか？
 - ・患者様の療養生活において、患者様やご家族から相談を受けることがありますか？それはどのような内容ですか？
 - ・患者様とご家族の療養生活を支えているものは何だと思いますか？反対に、患者様とご家族の療養生活を妨げている要因にはどのようなものがあると思いますか？
 - ・患者様とご家族自身は治療・生活においてどのようなことに価値をおいていると思いますか？
 - ・この地域の環境や人々の考え方などの固有の文化で、今の療養生活に影響をおよぼしているものがあると思いますか？それはどのようなことですか？影響を及ぼしているときのようなときに感じますか？

2. 患者様とご家族への援助について、工夫や配慮していることをお聞かせください。
 - ・患者様とご家族の意思決定において、難しいと感じておられること、配慮されていることがありますか？
 - ・ご自宅での健康管理を指導する上で、難しいと感じておられること、配慮されていることがありますか？
 - ・退院調整、あるいはご自宅での日常生活や通院の継続を支援するにあたり、難しいと感じておられること、配慮されていることがありますか？
 - ・患者様とご家族の関係性、あるいは患者・家族をとりまく親族、近隣との関係性において、医療者として配慮を要していることはありますか？
 - ・患者様とご家族を支援していく上で、院外の保健・医療・福祉専門職（開業医、訪問看護ステーション、ケアマネージャーなど）と、どのような連携を行っていますか？

3. その他
 - ・豪雪地域であることが患者様とご家族の療養に影響していることがありますか？また、それに対してどのような配慮をしていますか？
 - ・市街地から山間地まで広範囲にわたるがん患者の医療を担っていますが、がん患者様とご家族の病気や治療に対する受け止め、あるいは療養生活における価値観など地域的

資料 8-3 インタビューガイド（医師用）

な違いがあると思いますか？

- 高齢がん患者様とご家族を支援していく上で、院外の保健・医療・福祉専門職と、互いの考え方の共通性や相違点などはありますか？
- 地域がん診療連携拠点病院として、この地域の高齢がん患者と家族へのがん医療において、どのようなことを期待されていると思いますか？また、課題と思うことはありますか？
- 高齢化が進んでいる日本において、高齢がん患者の増加は今後医療の場にどのような変化や課題をもたらすと思いますか？特に、この地域において、感じておられることはどのようなことですか？

地域の特性に関する視点とその情報源

視点	具体的な内容	主な情報源
地域の人々の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史 ・ 人口動態 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市勢要覧 ・ 統計資料 ・ 市のホームページ
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候・自然環境 ・ 地域環境（面積、位置、形状） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象情報 ・ 降雪量 ・ 地図 ・ 市のホームページ
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業の特性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計資料
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、バス路線と運行時刻 ・ 高速道路や国道の配置 ・ 自動車運転免許取得率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道路線図 ・ 時刻表 ・ 地図 ・ 報告書
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の主なメディア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域新聞

研究者への連絡用 返送用はがき 見本
＜宛名面＞

切手	〇〇〇-〇〇〇〇	(連絡先住所)
酒井 禎子 行		

＜裏面＞

患者・家族用

<u>調査への参加の中止について</u>
「患者様とご家族の療養生活に関する調査」 について、参加を中止します。
年 月 日
ご芳名 _____

医療者用

<u>調査への参加の中止について</u>
「患者様とご家族の療養生活に関する調査」 について、参加を中止します。
年 月 日
ご所属（病院名）： _____ [_____] 病棟・外来
ご職種： _____
ご芳名： _____